

かながわ 企業探訪

vol.195

株式会社アレックス

(TDB企業コード：201693577)

住 所 横浜市都筑区早瀬1-25-40

代 表 者 細貝 昭一氏

電 話 番 号 045-594-0907

創 業 1999年(平成11年)8月

設 立 2000年(平成12年)9月

資 本 金 1200万円

目 的 新築住宅補修・家具補修、
リフォーム工事U R L <http://www.e-arex.com/>

「技術集団の弊社にとって社員は宝」という細貝代表

「断らない」から広がる仕事

当社は、住宅や店舗に直接出向いて作業する出張補修事業に加え、現在は自社工場にてインテリア・家具などの修復を行う事業が伸びているという。そこには、どんな背景があるのだろうか。代表の細貝氏にお話を伺うと、そこには時代のニーズを的確に捉えつつも、流されず常に仕事の本質を追究し続ける姿勢を見ることが出来た。

——御社の主力業務である建物の出張補修とはどのようなものなのでしょうか？

建物を新築・リフォームする際は、住宅メーカーや施工業者が、引き渡しまでに何度も点検を行い、万が一不具合やキズがあった場合は、きちんと直した上で依頼主に提供します。私達は、そのお手伝いをさせて頂いています。一口で「建材」と言っても、木、金属、樹脂など様々な素材がある上、直すべき状況も多岐にわたるため、今まで培った技術や経験を活かし、

対応させて頂いています。

——設立のきっかけは？

独立する前は補修材のメーカーに勤めていて、様々なお客様と対話する中で「補修材を売るだけでなく、補修自体をしないのか」という声を度々頂きました。その都度対応もしていましたが、付け焼き刃的なものではなく、技術に裏打ちされたしっかりとした補修をしていきたいという思いが強くなり、1999年に個人で独立し、2000年9月1日に法人化し、弊社を設立するに至りました。

なので、個人創業を含めると今年でちょうど業歴15年になりますね。

——独立時のご苦労などはありましたか？

おかげさまで、独立した時に前職の会社から多くの同僚と一緒に付いてきてくれました。

この業種は一人一人の技術力が大事なので非

常に助かりました。また、前職の会社とも関係が良好であったため仕事を頂くことができ、順調な滑り出しだったと思います。

——近年、家具修復事業が大きな伸びを示しているようですが、始められたきっかけは？

2004年頃に、家具の補修をやってもらえないだろうか？という依頼を頂きました。それまで、家具に興味はあったものの、あまり造詣は深くありませんでした。しかし、そのオファーをきっかけに様々な家具を調べていくと、複雑な家具ほど修理が難しく、これならば我々の補修技術を活かすことが出来ると思いました。そして、お客様が補修を検討するような家具は、思い入れの深いもの、高級なものが多いと思い、ご要望に応えるべく本格的に修復事業を始めました。

開始当初は高級住宅地を中心にチラシを配るなど、随分と歩いて地道に営業をしていきましたが、予想以上にニーズが多く、また口コミなどでも広めて頂き、あれから10年経った今ではリピート案件もたくさん頂きます。

■繋ぎ目が分からない高い技術力■

——家具修復はどんなオーダーがあるのでしょうか？

私達の技術の特徴は多数ありますが、その一つを挙げると、切断した部分の繋ぎ目を分からなくすることができるということです。

その技術を活かして、「購入した家具が設置したい場所に対して大きすぎたので、それを切ってサイズを調整してほしい」という依頼や、ホテル住まいの方から、「部屋にこだわりの家具を入れたが分解できず入口を通らない」ということで、切って搬入し、中で元通りに組み直す、といったオーダーもたくさん頂きます。

他、和洋問わず家具全般を手掛けています。椅子は張り替えの他、木製フレームの塗装や組立まで行います。家具調仏壇など光沢のある仕上げが施されたものも補修します。また、レジャーボートの内装については、調度品やソファ、鏡面仕上げの扉などの補修まで手掛けています。

期を重ね、様々なオーダーを断らずに受け、多くの案件をこなすうちに、たくさんの技術の引き出しができ、陶器の美術品の補修まで扱



家具修復の風景

ようになりました。

■仕事を断らないことで成長を■

——今後、どのような会社にしていきたいですか？

おかげさまで、現在は建築業界から一般の方まで、多くのお客様から仕事を頂き、多くの人材が育ってきています。会社が順風満帆ほど事業継承が難しいと言われるかもしれませんが、今後は、プロパーの人材から、社長を任せることが出来る後継者の育成に力を入れていこうと思っています。

後継者に希望することは、「依頼された仕事をただ断らないで欲しい」ということです。なぜなら、それが新たな成長のチャンスであり、そのために自分自身が常に勉強を続けることになるからです。経験のない依頼でも、知識と発想を総動員し、どうすればお客様の求めていることがクリアできるのかをとことん考えることで、結果としてお客様の満足につながる人が多いのです。

これからも、長年培った技術力と多くの案件を踏まえた豊富な提案力を武器にしていきたいと思っています。

——あとがき

起業から15年、ここまで会社が順調なのは細貝氏曰く、行動あつての「運」と言う。

しかし、最も大きな要因は細貝氏が放つ、何でも相談できる懐の深さのようだ。それが、顧客からの幅広いニーズを拾い集め、今日の業容の広さに繋がっているのであろう。そのイズムが後継者にも引き継がれ、当社の今後の更なる飛躍が期待される。